

No.644 (改題604号)
2024年
5月22日(水) 合併号

新社会兵庫



週刊 新社会

発行所: 新社会党

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三蔵ビル3F
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

戦争させない、9条壊すな



5・3兵庫憲法集会に5千人



内田樹さん

「戦争させない、9条壊すな」総がかり行動兵庫実行委員会主催の憲法記念日恒例の「5・3兵庫憲法集会」が今年も神戸市中央区のみどりの公園で開かれ、約5千人が参加した(写真上)。安倍政権時の戦争法(安保関連法)反対闘争のなかで、2015年2月に中央段階で党派を超えた「総がかり行動実行委員会」が結成されたのを受け、兵庫でも同じ趣旨で兵庫県実行委員会を結成。16年から超党派の「5・3兵庫憲法集会」をずっと続け、今年が9回目。この間、日米軍事同盟の強化とともに戦争準備を進める閣議決定や悪法が次々と成立し、岸田政権の前のめりの大軍拡・戦争準備推進のなかで、「戦争させない、9条壊すな」のスローガンがかつてなく切実さを帯びる情勢のもとでの集会となった。

雲ひとつない五月晴れの下、集会は昨年にひきつづき川口真由美&カオリンズによる熱く、元気な音楽でスタート。

まず、羽柴修弁護士が主催者あいさつ。これか

「戦争準備ストップ 武力で平和はつけない！」

社民党と新社会党が共同アピール

5・3に両党が合同街頭宣伝行動

潜在的に抱え、いずれの結果になっても大統領選で分断がさらに拡大し、大混乱が起きると予想。最悪のシナリオが、トランプが勝ち、アメリカファーストで日米安保の破棄さえしかねないことだと指摘。日米同盟一辺倒の日本は、そんな状況について何の準備も議論もないとし、最悪は膨張してきた安全保障の領域が自衛隊に丸投げされ、改憲につき進むことだとした。国際秩序も大きく変

わっていくなかで、日本をどういう国にしていくなか、そのイメージ・形について衆智を集めて国民の合意形成を図っていくべきだと提起した。



集会を終えてデモ行進に出発する先頭＝5月3日、みなとのもり公園

ひょうづい 描き歩き

150

智頭急行

(赤穂郡上郡町ほか)

「パーいば」も智頭線を使う。

山陽本線・上郡駅と鳥取県の智頭駅を結ぶ智頭急行は30年前に第三セクターの鉄道として開業した。輸送密度の見込みがなく中断していた、この国鉄路線の建設計画は第三セクターの路線が次々と廃線に追い込まれている中で、京阪神から山陽、山陰を約2時間半で結ぶ第三セクター鉄道としてスタートを切ることができ、収益性トップを維持している。普通列車の利用度は低いJRとの相互乗り入れで黒字を維持している。京都を出た特急「スーパーはくと」は山陽線を経て上郡で智頭線につながるが鳥取へ。上郡―智頭間の56キロを14の駅で結ぶ。岡山から来る「ス

全線の4割以上をトンネルが占め、高架橋も多い路線だが、高性能のディーゼルカーが1面で行ける普通車に乗って、途中下車をしながら巡ってみたい気を感じさせる駅名が連なる。「あわくら温泉駅」、宿場町の「平福駅」、「宮本武蔵駅」、赤松円心が築城した白旗城のある「河野原心駅」等。鳥取県に入るが「恋山形駅」も駅名に「恋」が付く全国に4つあるうちの1つで、山間の無人駅の駅舎も周辺一帯も浮き立つようなピンク色に塗られている。



アピールは、岸田政権の「戦争する国」への暴走を批判し、「抑止力」の名の下に進む不毛な防衛費増大・軍拡競争に反対し、戦争への道を断固として拒否します。私たちは平和憲法の下、いのちとくらしが最優先される社会をめざします」などど謳っている。

兵庫でも、隔月で行っている両党合同の街頭宣伝行動を5月は憲法記念日の3日の昼前、三宮センター街東口で行った。



「兵庫憲法集会」の前段に三宮センター街東口で街頭行動を終えたあとで＝5月3日

水脈

自民党の派閥のほとんどない裏金問題をきつかけに、報道の場で政治とカネ問題が突出し、政治資金規正法の改正など「政治改革」に焦点が当たるとは至極当然だろう。しかし、その一方で、安保・防衛に関わるきわめて重要な法案が、その中身が国民に十分知らされることのないまま成立し、採択し、3コースに分かれてデモ行進に移った。

基本的な人権の尊重、平和主義が、岸田政権の下でそれぞれ重大な危機を迎えている。ただ憲法を守るという視点でなく、憲法案項を積極的に活かすことが必要で、その行為が主権者としての自覚を高める」と訴えた。

このほか、大島淑子(宝塚市議)と栗原富夫・新社会党兵庫県本部委員長(神戸市議)らがマイクで市民に訴えた。

栗原委員長は、「憲法の3つの柱である国民主権、

「指揮・統制」の連携への歩みが進む。また同日、経済秘密保護法案(重要経済安保情報保護法)及び活用に関する法律案)も参院で可決、成立した。政府が恣意的に決める「秘密」に関する民間企業の労働者や大学の研究者も「適正評価」の名で思想調査を受け、「秘密」漏えいには罰則が科せられる。岸田政権の「戦争する国」づくりへの暴走をさらに補強していく法整備の一環で、この政権は打倒しない。

私の主張

「困難を抱える女性支援新法」 報告と解説受け熱心に討論 新社会党県本部・女性党員交流会



「女性支援新法」のポイントについて解説を受けたあとグループにわかれて熱心にワークショップを行った＝4月29日、神戸市中央区

「困難を抱える女性支援新法」について学習を深め、今後私たちにできることを考え合いたい。会が4月29日、神戸市

立婦人会館で開かれた。——。そんな思いを持って、新社会党兵庫県本部の「女性党員・党友交流会」が4月29日、神戸市交流会では、新法をめぐるとの動きを加納花枝副委員長が、芦屋市の取り組みや非正規労働者の実態を山口みさえ芦屋市議がそれぞれに報告。また、4年間の女性支援相談員の経験がある松本さんからも報告があった。その後、ファシリテーターとして福田紀子さんから新法のポイントについての解説があり、5、6人のグループに分かれてワークショップを行った。ワークショップでは、

王子プールなくすな 署名活動スタート 「王子公園・市民ミーティング」



王子公園再整備に伴い今年の夏で営業を終了

進法の後には地公法改正（会計年度任用職員制度）と、いつも邪魔する法律ができてきた」などの話があった。今後、県本部女性委員（森）

改憲の動きをウォッチング

し、秋には解体工事が予定される王子プールについて、「王子プールをなくさないで！」の署名行動

（写真）。この計画を知らない市民も多かったが、この日は1時間で163筆の署名が集まった。

■岸田内閣の「戦争の道」とNHKの憲法に関する世論調査
5月3日は77回目となる憲法記念日。
5月3日付の朝日新聞社説は、岸田政権が2022年末の「安保3文書」の改定で、敵基地攻撃能力の保有を認め、軍事力の強化を急ピッチで進めていることに触れ、「戦争への影を落とす」と警告している。

さらに岸田内閣は、「安保3文書」に基づき、軍事費増額、殺傷兵器輸出解禁など憲法の平和主義を踏みにじり、「戦争への道」を突っ走っている。

4月の日米首脳会談では、米軍と自衛隊の指揮権強化に踏み込んだ。自衛隊が米軍の指揮統制のもとにおかれ、日米軍事同盟は変質される。

「戦争への影を落とす」と警告している。と、警告している。

さらに岸田内閣は、「安保3文書」に基づき、軍事費増額、殺傷兵器輸出解禁など憲法の平和主義を踏みにじり、「戦争への道」を突っ走っている。

4月の日米首脳会談では、米軍と自衛隊の指揮権強化に踏み込んだ。自衛隊が米軍の指揮統制のもとにおかれ、日米軍事同盟は変質される。

「戦争への影を落とす」と警告している。と、警告している。

さらに岸田内閣は、「安保3文書」に基づき、軍事費増額、殺傷兵器輸出解禁など憲法の平和主義を踏みにじり、「戦争への道」を突っ走っている。

4月の日米首脳会談では、米軍と自衛隊の指揮権強化に踏み込んだ。自衛隊が米軍の指揮統制のもとにおかれ、日米軍事同盟は変質される。

「戦争への影を落とす」と警告している。と、警告している。

環境の変化が47%と最も多く、国の自衛権や自衛隊の存在を明確にすべき22%、プライバシーや環境などを盛り込むべき15%、米国におしつけられたから7%。

※上から、必要ある／必要ない／どちらともいえない、の順

■許すな緊急事態条項の先取 地方自治法改定

地方自治体に対する国の指示権を拡大する地方自治法改定案が連休明けにも審議入りする。

改定案は、政府が「国民に重大な影響を及ぼす事態」と判断すれば、国に地方自治体への広範な「指示権」を与え、自治体を国に従属させるものである。いま政府は、沖縄県民の民意を踏みにじり名護市辺野古への米軍新基地建設を強行している。2000年の地方分権一括法で国と地方は「対等・協力」の関係になったのだが。

朝日新聞社説は、「安全保障環境を理由に、政府は地方の自己決定権を奪うような政策を現に進めてきた」「憲法に有事の際の緊急事態条項を設けようという政権の動きの先取りだとすれば、成立させるわけにいかない」と、手厳しく批判している。

（中）

王子公園再整備問題 住民不在の再開発計画 に声を上げつつける

「都市計画審議会（都計審）」が開催された。この場で「王子公園再整備計画案」が採択されれば、不透明な政策プロセスで手続きだけを進めてきた神戸市は、次のステップに進むことになる。

1月末、「市民ミーティング」は、公報による開催通知を早急に出すように求めた上で以下の3点の申し入れを行った。

①これまで提出されている市民及び利害関係人による意見書全文を「都市計画審議会」

の現存数や植樹数は公表されたものの未だに伐採数は公表されていない。

さらに、動・植物への影響、大気汚染、騒音、光害、CO2汚染等々の周辺地域への影響を考え、再三、環境アセスメントの実施を要求してきたが、「新設公園ではないから」という理由で神戸市は実施しようとしていない。

いくつもの課題がありながら、市民の不安は払拭されず、市民との合意形成もできないまま、神戸市は4月、王子公園再整備の実施方針を公表、事業者募集を始めた。そして今年9月、「王子公園再整備計画」の端緒ともなる王子プールの解体を強行しようとしている。

「これからも声を上げ続ける」

こうした状況のなか、「市民ミーティング」は、神戸市や関西学院大学に市民説明会を早急に実施するよう求めるとともに、署名行動の第3弾として「王子プールをなくさないで！」の署名行動に取り組み（8月末まで）。

2021年末、「王子公園再整備計画案」が提案されてすでに2年半が経とうとしていて、ときには焦りと諦めもあったが、多くの市民とともに歩んできたことで、「怒り」を持ち続けている。これからも、市民の力を信じて声を上げる。上げ続ける。

小林るみ子（王子公園・市民ミーティング実行委員会・代表）

「改憲が必要の理由」

日本を取り巻く安全保障

35

「改憲の必要性」 改憲の必要がある36%、必要はない19%、どちらともいえない41%（昨年の調査とほぼ同じ割合）。

《改憲の世論の推移》（2024年）31/29/

《9条改憲の世論の推移》（2024年）31/29/

（中）

岸田内閣打倒、政治変革の声 各地でメーデー集会・デモ

尼崎

雨の中100人参加
MAYDAYあまがさき2024

尼崎では5月1日夕、出屋敷駅北側緑地公園で「MAYDAYあまがさき2024」が開かれ、約100人が参加した。

主催者あいさつで酒井浩二・尼崎地区労議長は「庶民は円安で厳しい生活を迫られているのに、自民党議員は裏金をため込み、何の責任も取らない姿に怒りが爆発、3補選の結果となった。野党共闘で政治を国民の手に取り戻そう」とあいさつ。

その後、全日建連帯閣西生コン支部や武庫川ユニオン三田屋分会などから闘争報告が行われ、また、ギグワーカーとして

神戸

震災と労組を考える

はたらく仲間のメーデー

神戸地区労などは5月1日、中央区文化センターで第7回はたらく仲間とのミーティングを開催した。

元旦に能登半島地震があったことや来年が阪神・淡路大震災から30年ということで、「震災と労働組合の活動」というテーマで4つの組合から震災時の労働組合活動の報告があり、参加者による意見交換が行われた。

「阪神大震災時には震災過労死を防ぐため当局に要求した。能登半島地震でそのことができているか心配」「官民など職場を超えた地区労運動があったからこそ、非正規の解雇問題を取り組むことができた」、「普段のいいねいな組合活動の取り組みが震災などの突発的な時に生きてくる」などの意見が出された。

震災時に取り組んだ経験を次世代につなぐことを全体で確認して集会を終えた。

(石上)



「震災と労働組合の活動」をテーマに報告を受けて意見交換＝5月1日、神戸市中央区

芦屋

市民団体もあいさつ

芦屋地区反戦メーニ

芦屋地区労働協会は小雨が止んだ5月1日午後6時、芦屋市役所前で初々しい女性（現業労働）の司会で芦屋地区反戦メーデーの集会を開始。仕事を終え



仕事を終えた約60人が参加して集会後は
JR芦屋駅までデモ行進＝5月1日

芦屋地労協議長の主催者あいさつに続き、同事務局長による基調提起ののち、後、地労協と共闘関係にある芦屋市民４団体（あたたかく民主的な市政をめざす芦屋市民の会、芦屋「九条の会」、憲法あしやの会、市民がつくる芦屋会議）の各代表のあいさつが行われた。最後は集会アピールの提案を青年（指導員労組）が行って採択。

集会後は「最低賃金１５００円を実現しよう」などのスローガンを訴えながらＪＲ芦屋駅までデモ行進を行った。

6月16日に
新社会党兵庫県本部が大会

新社会党兵庫県本部（粟原富夫委員長）は6月16日、中央区のひょうご共済会館で第30回定期大会を開催する。

大会課題のひとつは、昨年の統一自治体選挙で

も明らかにした党の力量の弱さを直視し進めてきた党建設の取り組みの検証。いま機関紙拡大運動を展開中だが、そこでの奮闘や成果もつき合わせる。ふたつには、自公

政権打倒の闘いとなる来たる総選挙と25年参院選に向けた運動と支持者獲得の拡大への意思統一。参院選予定候補に内定した甲斐正康さんを先頭に、しての運動の推進だ。



集会では闘争報告やギグワーカーからの訴えも行われた＝5月1日、尼崎市

寄稿

被災地・能登を訪ねて

神戸市会議員 あわはら富夫

震災直後の景色がそのまま

4月上旬、私の郷里で
る能登の宝達志水町を
ねた。その後、奥能登
輪島市、七尾市中島町
訪ね、被災者の生活支
の活動に取り組む神戸
ボランティアグループ
激励してきた。

定的に不足。さらに驚い
たのは、大火災に見舞わ
れた河井町は焼けた住宅
ビルはもちろん、路上の
焼けた自動車、電線にも
たれる電柱などまでもが
放置状態で、解体撤去な
どがまったく進んでいな

震災は、その都市が抱えている将来的な課題を今の課題にしてしまう。人口減で弱まる自治体力、さらに進む限界集落。復設住宅団地に集会所がないなど、これまでの震災の経験が活かされていないと怒っていた。さらに、災害救助法の主体である県の姿が見えず、地元自治体の対応が「すべてのことで遅れている」と嘆いていた。

興どころが復旧も進んでいない状況であった。元の暮らしに戻す支援が切に求められる。被災者の生活再建には、阪神・淡路大震災の被災者の運動で成立させた被災者生活再建支援法がある。この法律は地震など災害のために充実し、被災者の生活再建に役立つ制度になってきている。野党が支給額最高の600万円をすべての被災者を対象に給付する改正案を国会に提案している。この改正案を成立させ、阪神・淡路大震災の被災者の思いが能登の被災者を救うことを心から願う。

能登半島地震と2つの「原発」
志賀原発と珠洲「原発」

ら3か月を経過しても、輪島市に向かう途中から行ききの一方通行に規制され、しかも、至る所が土砂崩れしていて、夜の走行は非常に危険な状態だった。

輪島市では一部、仮設住宅の建設は始まっているものの、数が全体で決

うな状態だったから、地震のあった元旦から景色が全く変わらない輪島市の現状には驚かされた。

七尾市中島町で生活支援を行う、神戸の団体である被災地NGO協働センターの支援基地を訪れたが、仮設住宅建設が絶対的に不足し、また、仮

能登半島には今回の地震時に稼働していなかった志賀原発と長年の市民運動で建設凍結を勝ち取った珠洲原発計画がある。志賀原発は私の高校の校区にあり、周辺に友達もいる。志賀原発では、地震で陸海空とも交通手段は遮断され、特に避難発事故と同じ経過をたどったのではないだろうか。過去に計画されていた珠洲原発では、予定地集落は孤立して避難計画は役立たず、しかも予定地の海岸は2mから4mも隆起。原発ができていれば配管が破断するだけでなく炉心それ自身が破壊



震災と火災の惨状がまだそのまま残る輪島市

ルートは現在でも修復工事が行われている能登里山街道である。原発避難計画が全く機能しないことが証明された。また、志賀原発は再稼働が目前だったが、東日本大震災以後、新しい活断層の存在を反対派が問題提起し、再稼働をめぐる闘いが繰り広げられていた。今回の地震で外部電源も内部電源も一時期途絶えていた。稼働されていれば炉心の冷却ができず福島原

される大爆発が起こっていても不思議ではない状況であった。志賀原発の再稼働をさせず、珠洲原発計画を凍結に追い込んだ能登の市民運動に感謝である。

日本では半島や小さな集落などに立地が多い原発。地震と原発の両立はあり得ない。活断層が無数に走る日本に「原発はあり得ない」ということを、今回の能登行きであらためて確信した。

07108・55080
 ■とめよう！原発依存社
 会への暴走大集会く地震
 も事故もまったなし
 ◎6月9日(日) 集会…
 13時00分／デモ…14時
 30分◎大阪市・うつぽ
 公園(大阪メトロ・四ツ
 橋線・本町駅28番出口を
 北へ)◎主催〓老朽原弁
 つごかすな！実行委員会
 090・1965・71
 02

ラエルに対するガザ攻撃
 の停止要求」やそれを周
 りの人々に知らせていく
 こと、イスラエル国への
 抗議行動としてボイコッ
 ト運動も必要だと提起し
 た。

(小城)

「兵庫の会」の活動を中間総括

大椿ゆう子参議院議員が国会活動報告

介護保険改悪反対討論集会

「史上最悪の介護保険改定に反対する兵庫の会」(山崎貴会長。略称「兵庫の会」)は4月21日、結成から半年間の活動を総括し今後の取り組み課題を意思統一するために、大椿ゆう子参議院議員も招いて兵庫区内で討論集会を開いた。

「史上最悪の介護保険改定に反対する兵庫の会」(山崎貴会長。略称「兵庫の会」)は4月21日、結成から半年間の活動を総括し今後の取り組み課題を意思統一するために、大椿ゆう子参議院議員も招いて兵庫区内で討論集会を開いた。



集会では大椿ゆう子参議院議員も国会活動報告で討論に加わった＝4月21日、神戸市兵庫区

らも、深刻な人手不足や訪問介護の報酬減による介護離職増加の懸念などが指摘された。

介護保険改悪をおしとどめる活動の継続の大切さを確認して閉会した。(山崎)

緊急事態改憲のねらいを考える

長岡徹・関西学院大学名誉教授が講演

5・3兵庫憲法集会プレ集会

集会の基調提起では菊地憲之事務局長が、最大の課題であった利用者2割負担の対象拡大については24年度実施を断念させることができたこと、神戸市の保険料の引き上げ幅を小さいものにできたことを報告。介護保険制度への社会的関心がたいへん低いという現実のなかで介護保険改悪に向き合い、署名や議会での陳述で問題提起できた「兵庫の会」の取り組みの意義は大きいと強調した。

介護現場からは3人の報告があった。ユニオンたるみの岩澤仁志さんは、コロナ禍での苦難や今回の訪問介護の報酬減の仕打ちへの怒りを語った。ケアマネや老親介護者か

総がかり行動兵庫県実行委員会は「5・3兵庫憲法集会」の成功に向けてプレ集会を4月12日、長田区内で開き、約10

れるような敵基地攻撃能力の保有、防衛予算のGNP比2%への拡大、自衛隊と米軍の使用のための既存の空港・港湾の整備など日本列島全体の基地化などを指摘。②については、自衛隊に「統合指令部」を創設し、自衛隊と米軍の指揮統制の連携の強化をはかる問題を指摘した。

そして、明らかに憲法第7回神戸空襲犠牲者刻銘追加式●6月2日(日)10時～12時●大倉山公園北側「神戸空襲を忘れないいのちと平和の碑」前



あらためて「岸田大軍拡」の背景と問題点とともに岸田改憲とのたたかいを考えた＝4月12日、長田区文化センター

地域ユニオン 432 あちこちあれこれ

いま取り組んでいる垂水区の障がい者福祉事業所の問題について報告したい。その会社は、相談事業・訪問介護・就労支

援B型を運営しているが、今回は国から介護事業所に入る障害福祉サービスの報酬についての問題。組合員の報告によると、会社は利用者宅に訪問していないにもかかわらず、訪問したこととして報酬を請求しているという。

例えば、利用者から「友人宅に出かけるので、明日の訪問はキャンセルしてほしい」と連絡を受けて訪問しなくても、報酬を請求している。これは

介護報酬の架空請求問題

ており、一人暮らしや生活保護を受けている人を担当している。一人暮らしは家族が同居していないため、訪問などをチェックする人がいない。高

利用者は確認していない。いわば、企業の倫理観に委ねられている仕組みであり、これでは不正が起きてしまう。

一方、社長は「ユーザーには確認していない。支払われるとすれば、事業所が負担することになり、そのようなことが繰り返されれば、事業所は運営が困難になるだろう。」

また、この事業所は年末年始を休みにし、利用者者を1週間放置しながら報酬の架空請求をしている。放置された利用者は1週間風呂に入らず、ゴミも処理できず、人らしい生活ができていない。これは許されることではなく、不正も咎められるべき問題である。

夏が来れば 半田手延べそうめん 阿波白糸 徳島県つるぎ町半田 芝製麺

300年の伝統を誇る麺のふるさと、半田。霊峰剣山の寒風と吉野川の清らかな流れに育まれた里で、原材料と製法にこだわって作り続ける芝製麺の人気の定番商品を今年もご案内します。

太麺	2キロ箱入り	3,000円	3キロ箱入り	4,400円
細麺	2キロ箱入り	3,000円	3キロ箱入り	4,400円

- チラシをご覧になって一括配達をお申し込みの皆様には6月8日(土)頃から順次配達致します。なお配達は、当社担当者が職場や地域を単位として無料でお届けしています。そのため時間指定や遠方への配達はできませんことを予めご了承ください。一括配達の締め切りは6月3日(月)です。
- お中元やお盆のお供え用として送られる場合は、宅配便(料金別途)利用でお届けします。

(有)ぴいぷる 電話/ファックス 078(531)0135



おんなの目

私の親愛なる筋トレ友だった福田純子さんが残念で悲しいことに今年2月、81歳で急逝されました。

福田さんはこのコーナーに毎年自分の筋トレメニューを紹介していた方です。先月偲ぶ会が行われましたが、彼女の幅広い活動、趣味、そして人柄からたくさんの参列者で会場はいっぱいに。私だけでなくみなさん、彼女の突然の死は受け入れ難く、とても悲しいのですが、彼女らしく明るい偲ぶ会で時々笑いもありました。それは、生前いろいろアチドジがあったのですが憎めないかわい

い方で、純子さんの字のごくとても純粋な方だったからです。

彼女となぜ筋トレ友だったかと言うと、お互いに日々筋トレを頑張っていた仲間だったからです。彼女とはよく会議で一緒にいることがあったのですが、帰りはいつもトレーニング談義をしながら県庁前の事務所から三宮まで歩いていました。彼女も私も地域でボランティアで「体操」を教えたり、自身も体力作りのためにリハビリ室やジムなどで筋トレや運動をやっていたので話が尽きませんでした。私にとっては彼女のように80歳を過ぎてても元気で健脚に歩けるのが目標でした。彼女が筋トレを頑張っ

ていた大きな理由は、以前に腰痛がひどくなり、医者からは手術を勧められたのですが、手術が嫌めたからでした。何年もおかたて治したのですが、それをずっと続けていました。続けていないと筋力が衰えてまた元に戻ってしまうからです。

私自身は一昨年6月に

筋トレ大好きだった純ちゃん

（笑）。体力の回復はまだ6〜7割程度ですが、長い間休んでいたスポーツジムにも昨年11月から復活できました。もう復活は無理だろうと思っていただけに、汗をかけたときは本当にうれしかったです。大病を患っていたのに気が付かされましたが、なにはともあれ、やっぱり「元氣」が一番ということ。

彼女は聞き上手な方でした。歩きながらいつも私のグチをよく聞いてくれました。優しく反応してくださるので、私などはつい自分のことばかりしゃべってしまっ

……。三ノ宮駅に着いてもまだしゃべり足りなくて、またそこで20分くらい聞いてもらってということが度々でした。今思えば、会議が終わって疲れているのに早く帰りたい

かったらうな……。今ごろになってですがゴメンナサイ。でも私は何度も心を助けられました。純ちゃん！筋トレ談義ができないのは寂しくな

ったけど、先輩を目標にして頑張るので、さぼっていたらお空からニコニコしながら「ファイト！」と声をかけてネ。

（新原三恵子）



『風景をつくるべし』

真田純子著／農山漁村文化協会／2200円＋税

著者は、よりよい風景をつくる学問、風景工学の研究者である。16年前、大学助教の職を得た徳島で中山間地の撮影に出かける。ところが、美しい田園風景なのになぜか違和感を覚える。どう切り取ってもビニールハウスやソーラーパネル、耕作放棄地が視界に入り込む。もう一つ。夏定番の野菜であったトマトやキュウリが年中食べられることや、ファームレスやコンビニでも季節に関係なく同じ食材を使った弁当が並んでいることに気づく。社会全体が季節感のない食生活に鈍感になっているのではないか。

いつごろからこうなったのか……。著者の探求がはじまる。農政を検証する中で、過疎と高齢化、37%という最低の自給率など崩壊

本棚

都市と農村の幸せな関係づくり

寸前の今日の農業の惨状は、1961年制定の農業基本法がもたらしたと結論づける。同法は、貿易自由化の名のもとに、自動車や電機など経済成長の花形である輸出産業を支援する「産業の一部門」として農業を位置付けた。著者はその結果、「農業の持つ文化的な

価値、環境的価値、農村社会をつくる価値がなくなった」と断じる。その事例として、都市圏への農作物を安定的に供給できるよう、大手種苗会社のF1種の種子購入を事実上強制する仕組みがつけられていることを指摘する。また、スーパーの出現で野菜などの規格化が徹底されてきたことを取り上げ、「作物の地域性や旬という考え方が消滅した」と指摘する。

著者がこうした実情をふま実践したが、

ゴジラメコング 新たな帝国

本作は、ハリウッド版「ゴジラ」シリーズと「キングコング」の巨神の世界観がクロ

しな人と人類は長らく信じていた。しかし、エジプトのギザをはじめ、世界各地で地下から未知の脅威が姿を現し、街の人々はたちまち混乱にのみこまれてしまう。突然現れた怪獣たちの歴史と起源、人類の存在の謎にまつわる冒険が幕を開ける。

生命は地上にしか存在

ゴジラとコングによる壮絶な死闘に決着がついてから3年後、ゴジラは地上の怪獣たちの脅威を抑え込み、地上世界において人類と共生するデトリを築いていた。そ

ゴジラとコングは、本来の故郷である地中深くに存在する巨大な地下空洞の中で暮らしていたものの、いまだ同族の存在を確認できず、孤独感を募らせていた。そんな中、新たに発見した土地でついに同族に巡り合う

として描かれている。この映画には、ゴジラとコング以外にも様々な



まず自分の食べ方を変えるということだった。最初に7つの食べ方の原則（①基本は徳島県内産の食材、②選べるときはなるべく過疎地域のもの、③できるだけ産直市で購入する、④調味料など難しい場合は四国内のもの、⑤加工品は天日干しや伝統的手法のもの、⑥旅行先で買ったものはOK、⑦それ以外は栽培過程に配慮がなされたもの）をつくらせて、環境や農業のことを考えながら、最低でも週1回は実践することにした。こうして食材を選

その上で著者は、「農産物の規格化は、大都市に効率的に運ぶ物流対策のために必要という人もいるが、長距離を運ばない地産地消だったら規格がなくても差し支えない。野菜の規格化が農業を工場化して、効率化に向かない中山間地を過疎化させた」とし、「中山間地域の環境を守る人の生活や小規模の農業が成り立つような土俵をつくる必要がある」と強調する。

著者が指摘するように、農政の大転換が必要なのだが、自公政権はさらに事態を深刻化させようとしている。農業基本法の改正と称して、「食料安全保障」を前面に押し出し、輸入途絶など不測の事態に備え、コメ・麦の増産や作付け転換で花農家にイモを作らせることなどを提案している。「戦時食料法」そのものの法案で、すでに国会に提出されている。われわれが求める所得補償の拡大など農家を支える施策はここには見当たらない。

ちなみに、著者は10年前から「石積み学校」を主宰、棚田維持のための技術の継承にも取り組んでいる。（鍋島浩一）

ム・ウィンガー監督は、子どもの頃から大のゴジラファンで、私は気づいたわけではないのだが、「東宝ゴジラ」へのオマージュとしてのシーンが散りばめられているという。なかでも見どころは、おなじみのテーマ曲にのって現れるシーンが印象的な、あの怪獣が参戦することだ。

山崎貴監督作品の「ゴジラ1・0」がアカデミー視覚効果賞を受賞したことも記憶に新しいなか、日本発のゴジラというコンテンツが、ハリウッドにおいて確固たる地位を築きつつあることを改めて感じた作品である。監督ヒアラム・ウィンガード/2024年ノ

米ノ117分

シネマランド

「ゴジラVSコング」から3年経ての新作